

【森林経営】森林・林業分野における国際協力に関する次の記述 A～D のうちには妥当なものが二つある。それらを選んでいるのはどれか。

- A. 日本は、JICA を通じて、専門家派遣、研修員受入れ及び機材供与を効果的に組み合わせた技術協力プロジェクト、研修等を実施している。
- B. FAO は、国連の専門機関の一つであり、世界森林白書や林産物統計などの世界の森林や木材貿易に関するデータの収集及び公表を行っている。
- C. ITTO は、熱帯林の持続可能な経営の推進と合法的に伐採された熱帯木材の貿易の発展を目的に活動している国際機関で、現在、本部を東京に置いている。
- D. 森林・林業分野における日本の国際協力は、二国間協力に限定されており、国際機関への資金拠出など多国間協力は一切行われていない。

- 1. A, B
- 2. A, C
- 3. A, D
- 4. B, C
- 5. C, D

【森林科学】侵食に関する次の記述 A~D のうちには妥当なものが二つある。それらを選んでいるのはどれか。

- A. 一般に、花こう岩類は表面侵食に弱く、古生層は侵食に強い。
- B. 日本では、山地の侵食によって産出する土砂量は極めて多い。
- C. マサやシラスは侵食に対して特に強い。
- D. 雨水による侵食は、雨滴侵食、細流侵食、雨裂侵食、層状侵食の順に進行する。

- 1. A, B
- 2. A, C
- 3. B, C
- 4. B, D
- 5. C, D

正答 ①